

# 平成 26 年度事業報告書

## [1] 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月 / 日	講師名	役 職	テ ー マ
26.5.27	尾 上 定 正	航空自衛隊 幹部学校長 空将	最近の国際情勢と我が国の安全保障
7.1	知 原 信 良	杏林大学 教 授	これからの税制-消費税と法人税の 話題を中心に-
27.2.10	柴 田 明 夫	㈱資源・食糧問題研究所 代 表	最近の資源・エネルギー情勢と食糧問題

施設見学研修を下記の通り開催した。

①	期 日	平成 26 年 6 月 21 日 (土)
	視察、訪問先等	航空自衛隊百里基地
②	期 日	平成 26 年 8 月 22 日 (金) ~23 日(土)
	視察、訪問先等	陸上自衛隊富士総合火力演習
③	期 日	平成 26 年 10 月 31 日 (金) ~11 月 1 日 (土)
	視察、訪問先等	北九州水素タウン、新日鐵住金高見倶楽部、北九州エコタウン、安川電機、西鉄自動車教習所、山口油屋福太郎、九州経済調査協会
④	期 日	平成 26 年 11 月 26 日 (水)
	視察、訪問先等	ティエフケー成田本社
⑤	期 日	平成 27 年 2 月 6 日 (金) ~7 日 (土)
	視察、訪問先等	東京電力柏崎刈羽原子力発電所
⑥	期 日	平成 27 年 3 月 13 日 (金) ~14 日 (土)
	視察、訪問先等	沖縄石油基地、電源開発沖縄やんばる海水揚水発電所、旧海軍司令部壕、陸上自衛隊第 15 旅団、普天間基地 (嘉数高台公園)

## [2] 研修セミナー（フォーラム' 80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム' 80）を実施した。

(1) 開講状況（平成 25 年度からの継続を含む）

第 71 期 : 開講日 ..... 平成 25 年 12 月 5 日

終講日 ..... 平成 26 年 10 月 9 日

※ 修了後、第 71 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 72 期 : 開講日 ..... 平成 26 年 5 月 13 日

終講日 ..... 平成 27 年 3 月 3 日

※ 修了後、第 72 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 73 期 : 開講日 ..... 平成 26 年 12 月 4 日

※ 現在受講中

## (2) 講師・テーマ一覧 (本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略)

## &lt;第71期&gt;

月/日	講師名	役職	テーマ
26.4.10	小林宏之	元 日本航空 (株) 機長	危機管理について
4.17	吉武博通	筑波大学 教授	大学改革の展望
4.25	中尾エミ	ANA ビジネスソリューション (株) 講師	ビジネスマナー&パーティーマナー (実践形式で)
5.15	中島英也	(株)CSK サービスウェア 執行役員	D-SAT リダクションー不満の削減についてー
5.22	後藤正彦	元 (株) 博報堂 CC局長	企業のリスクコミュニケーション
5.29	南川夏雄	NTT BP (株) 副社長	大災害発生時の通信事業者の責任と今後の対策
6.5	渥美堅持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化ー歴史、宗教、政治、社会ー
6.12	野口秀行	ノースアジア大学 特任教授	アベノミクスは本物か
6.19	石塚晴通	北海道大学 名誉教授	「日本国家」のはじまり
7.3	森亮二	流山市議会 議員	自公政権下で求められる国と地方の関係
7.8	藤崎一郎	一般社団法人日米協会会長 前 駐米大使	日米関係の展望
7.17	田中輝彦	有限責任あずさ監査法人 パートナー	一般教養としての経営分析入門 (破たん会社から学ぶ決算数値の読み方)
8.26	加地伸行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
9.4	齋藤善久	獨協大学 講師	発想力とコミュニケーション力
9.25	山田隆持	(株) NTTドコモ 相談役	私の経営に対する基本的な考え
10.2	笹谷秀光	(株) 伊藤園 常務執行役 CSR 推進部長	新たなフェーズを迎えた企業の社会での役割ー社会対応力と共有価値創造力(CSV)をどう付けるか?ー
10.9	終 講 式		

## &lt;第72期&gt;

月/日	講師名	役職	テーマ
26.5.13	開 講 式		
5.20	舘逸志	内閣府 参事官	今アジアを考えるー日・タイ、日ASEAN 関係を中心にー
6.5	渥美堅持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化ー歴史、宗教、政治、社会ー
6.10	呉忠根	元帝京大学 教授	最近の朝鮮半島情勢

月/日	講師名	役職	テーマ
6.19	石塚晴通	北海道大学 名誉教授	「日本国家」のはじまり
7.8	藤崎一郎	日米協会会長 元 駐米大使	国際情勢の読み方
7.15	森一弘	真生会館 理事長	現代世界とカトリック教会
8.26	加地伸行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
9.2	伊藤数子	東京オリンピック・パラリンピック 組織委員会 顧問	ユニバーサルコミュニケーション 実現に向けて
9.25	山田隆持	(株)NTTドコモ 相談役	私の経営に関する基本的考え
10.2	笹谷秀光	(株)伊藤園 常務執行役員 CSR 推進部長	新たなフェーズを迎えた企業の社会での 役割—社会対応力と共有価値創造力 (CSV)をどう付けるか?—
10.7	森公高	日本公認会計士協会 会長	経済社会のインフラとしての会計・ 監査の課題
10.14	渡辺潤一	国立天文台 副台長	星空の散歩道
10.21	中島英也	(株)CSK サービス 執行役員クロスセル・成長戦略推進担当	D-SATリダクション—不満の 削減—
10.28	岡本智洋	(株)ティーエフケー 元社長	JALの経営破綻と復活～最近の航 空業界の流れと展望
11.4	田中秋人	(財)アジアフードビジネス協会 理事長	アジアでの仕事を通じて思うこと
11.11	森亮二	流山市議会 議員	自公政権下で求められる国と地方の関 係
11.18	今井和男	虎門中央法律事務所 弁護士	企業のコンプライアンス
12.2	吉武博通	筑波大学 教授	大学改革の現状と課題
12.9	野田健太郎	立教大学 大学院 教授	事業継続マネジメントによる企業価値 向上について
27.1.15	朱建栄	東洋学園大学 教授	中国の内政・外政と日中関係
1.20	上田紀子	ANAビジネスソリューション(株) 専属講師	ビジネスマナー&パーティーマナー (実践形式で)
1.27	田中辰巳	(株)リスク・ヘッジ 代表取締役	危機を克服する理論
2.3	吉田恵一	東京電力(株) 経営企画本部事務局次長	エネルギー問題と電気事業を巡る諸課 題
2.19	小林英夫	早稲田大学 教授	東南アジアの経済発展と日本—過去、現 在、未来—
2.24	橋本久義	政策研究大学院大学 名誉教授	2015年は3年遅れの昇龍年～がんばれ 日本の中小企業～
3.3	終 講 式		

<第73期>

月/日	講師名	役職	テーマ
26.12.4	開講式		
12.11	有吉登聖	前 陸上自衛隊第11旅団長 陸将補	国際情勢の変化と我が国の安全保障
12.19	呉忠根	元 帝京大学 教授	最近の朝鮮半島情勢
27.1.15	朱建栄	東洋学園大学 教授	中国の内政・外交と日中関係
1.27	田中辰巳	(株) リスクヘッジ 代表取締役	危機を克服する理論
2.4	吉田恵一	東京電力(株) 企画部マネージャー	エネルギー情勢と電気事業の課題
2.12	小林宏之	元 日本航空 (株) 機長	リーダーシップの本質について
2.19	小林英夫	早稲田大学 名誉教授	東南アジアの経済発展と日本～過去、 現在、未来～
2.26	大久保和正	武蔵野大学 教授	私立大学のガバナンス
3.5	舘逸志	国土交通省 大臣官房審議官	アベノミクスと地方創生
3.12	瀬谷ルミ子	日本紛争予防センター 理事長	紛争解決・平和構築への信念
3.17	伊藤数子	東京オリンピック・パラリンピック 組織委員会 顧問	ユニバーサルコミュニケーションの 実現に向けて

(3) 見学会・合宿・その他活動

①	期 日	平成26年4月7日(月)
	視察、訪問先等	防衛省(市ヶ谷記念館ほか省内)
②	期 日	平成26年6月26日(木)
	視察、訪問先等	NTT-NOTE
③	期 日	平成27年3月4日(水)
	視察、訪問先等	ANA 安全啓発センター、機体メンテナンスセンター、客室センター

### 【3】 国際交流

平成 26 年 9 月第 35 回海外研修団を組織し、総勢 31 名でフィリピン、ベトナム、インドネシア、タイを訪問した。概要は次の通り（所属肩書などは当時）。

① 期 間	平成 26 年 9 月 7 日～9 月 17 日	
② 団 長	恩 田 宗 氏	一般社団法人総合研究フォーラム業務執行理事
③ チームリーダー	小 川 勤 氏	有限責任あずさ監査法人
同 上	前 嶋 昭 弘 氏	月島テクノメンテサービス株式会社
同 上	鈴 木 靖 規 氏	リオン株式会社
同 上	山 田 泰 宏 氏	株式会社 三井住友銀行
④ 報告書編集長	安 藤 鉄 也 氏	東日本高速道路 株式会社
同 上	築 舘 宏 治 氏	全日本空輸 株式会社
編集委員	尼 田 雅 典 氏	株式会社 西日本シティ銀行
同 上	清 松 国 雄 氏	三井石油開発 株式会社
同 上	小 森 力 彌 氏	東京ガス 株式会社
同 上	関 正 人 氏	J A三井リース 株式会社
⑤ 主な訪問地	マニラ（フィリピン）、ジャカルタ（インドネシア）、ハノイ（ベトナム）、バンコク（タイ）	
⑥ 訪問地別主要行事（肩書きなどは当時、面会訪問順）		
マニラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤井日本人商工会議所副会頭講話</li> <li>・ 天野次席公使兼総領事講話</li> <li>・ 東芝情報機器フィリピン社見学</li> </ul>	
ジャカルタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JABABEKA 工業団地見学</li> <li>・ SARI ROTI 社見学</li> <li>・ 岡野公使参事官（アセアン日本代表部）講話</li> <li>・ 池谷参事官（日本大使館）講話</li> <li>・ JJC 吉田事務局長講話</li> <li>・ 鹿取大使講話</li> </ul>	
ハノイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深田大使講話</li> <li>・ チャン社会科学院ベトナム経済研究所長講話</li> <li>・ 日機装ベトナム工場見学</li> </ul>	
バンコク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐藤大使他講話</li> <li>・ 加藤盤谷日本人商工会議所事務局員講話</li> <li>・ バンディット泰日工業大学副学長他講話</li> <li>・ タイ日産社見学</li> </ul>	